

(様式 3)

平成 25 年度学融合推進センター学融合研究事業 研究成果報告書

| | |
|---------|---|
| 研究テーマ名称 | 「料理」の環境文化史：生態資源の選択、収奪、消費の過程が環境に与えるインパクト |
| 応募事業区分 | 「戦略的共同研究Ⅰ」 |
| 申請代表者氏名 | 野林厚志 |

○ 研究状況報告

本年度は、当初の研究計画にしたいが、研究分担者の計画課題に関する調査を分担者ならびに研究協力者を中心に実施した。具体的には、代表者である野林は台湾におけるオーストロネシア系先住民族と漢族化した先住民族である平埔族の植物利用と料理との関係についてフィールド調査と文献調査を行い、研究協力者（林、邱）は先住民族ならびに漢族系住人について比較可能なデータ収集をフィールド調査によって行った。池谷はインドネシアを中心として、狩猟採集民の食と生業についてのフィールド調査を行い、研究協力者（中井、増野）は比較可能なデータを東南アジア大陸部の山地農耕民の複合的生業を対象として収集した。西谷は日本における生業と食生活の歴史的变化を日本の関東地方を中心に文書資料の渉猟および現地踏査による環境評価を通じて探究した。考古学アプローチにおいては、高橋が沖縄、奄美、ベトナムにおける動物遺存体のサンプリングを実施し、資源移動の動態を知る上で有効な DNA 分析を次年度以降に本格的に実施する準備調査を行った。那須、本郷は西アジアにおける動植物遺存体を、料理という観点で分析しなおすためのデータ整理を行い、次年度以降に効果的に分析をすすめるためのデータベース構築を行った。情報学アプローチは従前の調査結果等を共有し、次年度以降のデータ解析のための構想を行った

○ 当該事業年度において達成された研究成果・今後の展望等

当初の調査計画については日程ならびに研究協力者の参加等、多少の変更はあったものの、基本的な研究課題についてはそれぞれの研究分担者がおおむね遂行できたと判断している。「料理」という新たな作業概念についても、異なる分野の間での議論が可能となる枠組として有効であることは、公開セミナー（3月22日実施）でも確認できたことから、基本的には現在の計画目標をもって研究を進めていくことになる。次年度については、栄養学や生理学を専門とする研究者にも適宜、助言を得ながら、料理の生理学的機能についても留意した調査を行うものとする。また、得られたデータの属性や規模に応じた料理インデックスの構想について情報学的アプローチからの研究を進める。

○ 本研究を基に発表した論文と掲載された雑誌名等のリスト（論文があれば添付）

a. 論文等での研究発表

1. 高橋遼平、石黒直隆、本郷一美（2014）「先島諸島の先史遺跡から出土したイノシ

(様式 3)

平成 25 年度学融合推進センター学融合研究事業 研究成果報告書

シ属 (*Sus scrofa*) の古代 DNA 解析」動物考古学会、第 31 号。(査読あり、印刷中)

2. 高橋遼平 (2014) 「先史時代琉球列島へのイノシシ・ブタの導入：古 DNA 解析を中心に」

高宮広土・新里貴之編『琉球列島先史・原史時代における環境と文化の変遷に関する実証

的研究 研究論文集 (第二集 琉球列島先史・原史時代の環境と文化の変遷)』六一書房、

東京。(査読なし)

3. 高橋遼平、本郷一美 (2013) 「II. 長墓遺跡出土の動物遺存体の同定、及びイノシシ (*Sus scrofa*) 骨の古 DNA 解析」長墓遺跡調査団編『南嶺の長墓遺跡調査研究 1』西九州大学持続的環境文化研究所、神埼、pp. 106-118。(査読なし)

b. 学会やシンポジウム等での研究発表

4. 高橋遼平 (2014) 「“Pigs might fly” ?? : 琉球列島における先史人類の移動にイノシシ・ブタは伴ったか？」『人類学若手の会第 2 回総合研究集会』東京、2014 年 3 月。(招待講演)

5. ○Ryohei Takahashi (2014) “Zooarchaeological study of introduction of *Sus scrofa* into the prehistoric Ryukyu Islands based on ancient DNA analysis” SOKENDAI Symposium □Modern Human Diversity on Genes and Culture□ - with special reference to Asia and Oceania -, Hayama, Japan, February 2014. (招待講演)

c. 教育

6. 特別招聘講師「民族学考古学特殊 VIII」(慶應義塾大学 文学部設置科目、佐藤孝雄氏・澤

田純明氏担当) 慶應義塾大学三田キャンパス、2013 年 11 月。